

栽培情報 3月号 ～赤かび病防除および今後の管理～

令和8年3月24日
JAみづま
久留米普及指導センター

2月中旬以降気温が高く経過し、定期的な降雨もあったことから、麦の生育は昨年よりも早く進んでおり、出穂も昨年より早まることが予想されます。

4月以降は、赤かび病防除をはじめとした麦の品質を大きく左右する非常に重要な管理作業があります。播種時期やほ場の条件、中間管理作業の違いにより生育状況が異なるため、ほ場をよく観察し生育に応じた適期作業の徹底をお願いします。

1 赤かび病防除

(防除時期)

- ・小麦、裸麦：開花期（出穂期後7～10日）

※イチバンボシは赤かび病に弱いため、1回目の1週間後に2回目の防除を行きましょう。

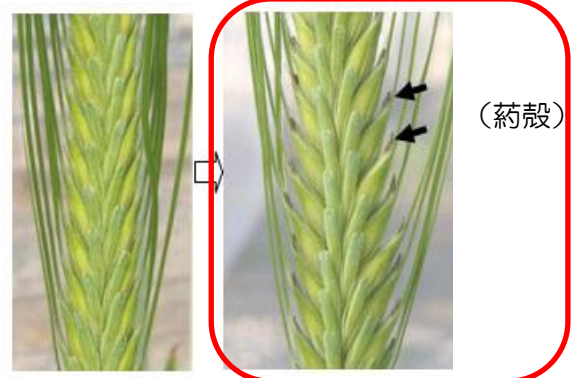
- ・大麦：葍殻抽出期（出穂期後12～14日）

<小麦、裸麦防除時期>



小麦
裸麦
(開花期)

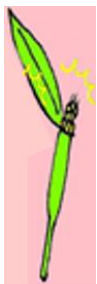
<大麦防除時期>



(出穂期) (葍殻抽出期)

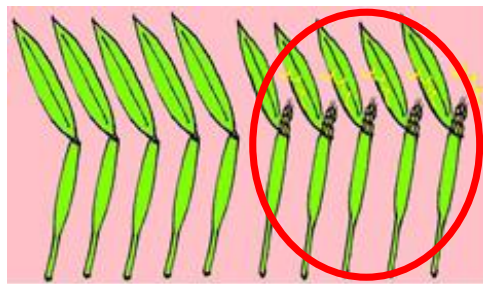
出穂期：全莖数の40～50%が出穂した日、穂揃い期：全莖数の80%以上が出穂した日
出穂とは、止葉の葉鞘から穂の先端（ぼうは含まない）が現れたことをいう。

出穂



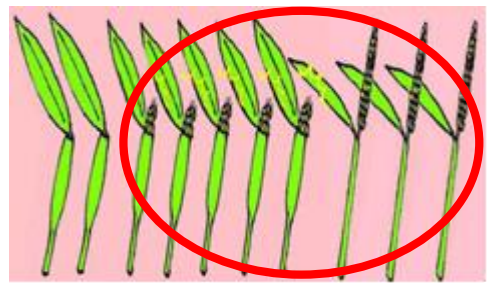
穂の先端が
少しでも
出た状態

出穂期



穂の先端が出ている莖が全体の4～5割

穂揃い期



穂の先端が出ている莖が全体の8割

○使用農薬（赤かび病防除）

品種	農薬名	希釈倍率	散布量 (10a 当り)	使用時期	使用回数
はるしずく（大麦） イチバンボシ（裸麦）	ミラビスフロアブル	2000 倍	100L	収穫前 14 日	2 回以内
	トップジン M ソル	1500 倍	100L		1 回
	トップジン M 粉剤 DL		4 kg	収穫前 30 日	
	トップジン M 水和剤	1500 倍	100L		
シロガネコムギ (小麦)	ミラビスフロアブル	2000 倍	100L	収穫前 7 日	2 回以内
	トップジン M ソル	1500 倍	100L	収穫前 14 日	
	トップジン M 粉剤 DL		4 kg		
	トップジン M 水和剤	1500 倍	100L		

2 網斑病・黄斑病対策

オオムギ網斑病とコムギ黄斑病は R6 年産麦で多発生し、収量・品質低下の要因となりました。令和 8 年 2 月、**ミラビスフロアブルに黄斑病の登録が拡大**されました（網斑病は令和 6 年 12 月）。赤かび病との同時防除でも一定の効果がありますので、まずはほ場の発生状況を確認しましょう。発生が多い場合は出穂までに**チルト乳剤 25**で防除を行いましょう。

網斑病




黄斑病



3 今後の管理（収量と品質確保）

今後の管理において、収量と品質を下げる要因は「排水不良」と「雑草多発」が挙げられます。下表を確認し、対策を実施しましょう。

条 件	排水不良	雑草多発
確認 ポイント	①落水口に堰板を設置したままになっていませんか？ ②枕地を切り通して落水口まで排水溝を作っていますか？	①ほ場内に雑草は目立っていませんか？
対 策	落水口を掘り下げて、うね溝から枕地を切り通して落水口までつなげましょう。 	今作での対策はありません。 次作で中期除草剤を上手に活用し、雑草防除を徹底しましょう。 可能であれば、翌年に種子を残さないよう手取り除草を行いましょう。

●農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意しましょう。
”安全”な農作業と農薬使用を徹底しましょう！